



ベタニアの家  
 第 76 卷 第 3 号  
 年 4 回 発 行  
 編 集 発 行  
 社会福祉法人 慈生会  
 〒165-0022  
 東京都中野区江古田 3-15-2  
 TEL 03-3387-5567  
<http://www.jiseikai.jp>

### 東の星と ならんため

シスター・田代 嘉子

碧あやなす むさし野の  
空遠くすみ 風かおる：  
のびゆく生命 はつらつと

大地の上に 築きゆく：  
東の星と ならんため  
神造ります むさし野の：

愛とかがやけ わが東星  
卒業式や入学式の式典で歌われる  
東星学園の校歌にいつも凛としたも  
のを感じ背筋がまっすぐにあります。

先月も小学校の運動会のプログラム  
の最後で、大空に響く子どもたちの  
声に織り込まれた校歌の言葉の一つ  
ひとつを聞きながら、これまで歌い  
継がれ、こうして歴史が受け継がれ  
てきたのだという想いを新たにし、  
感慨深いものがありました。

東星学園は、東京都下、人口約七  
万人の清瀬市にある小さなカトリッ  
クの学校です。ベタニア修道女会や  
慈生会と同じく、創立者はパリ外国  
宣教会師フロジャク神父様です。

もともと東星学園は、結核に罹患  
しているために清瀬地区（ベトレヘ

ムの園）で療養生活を送っていた人  
たちの子どものために建てられた  
『家』（現在の児童養護施設ベトレヘ  
ム学園）でした。今から八十年以上  
前の昭和九年頃、結核は治療法のな  
い死の病、しかも伝染するというこ  
とで、人々から忌み嫌われていたこ  
とは周知の通りです。

最近「フロジャク神父の生涯」  
（五十嵐茂雄著）を読んでいて、『こ  
の時代の神父の心理のうちには、い  
つも追われているような切羽詰まっ  
た気持ちと、それを跳躍台にして飛  
躍する想像力とが、微妙な緊張をた  
もって、ダイナミックな行動に彼を  
駆り立てていたのであろう』とい  
うところに共鳴し、この言葉を反芻  
するのでした。きっとフロジャク神  
父様を駆り立てていたであろうこの  
情熱が、当時の文部省から、学校と  
しての認可を取り付けたのだらうと。

そして昭和九年八月に、子どもの家・  
東星学園が建てられてから、僅か一  
年半後の昭和十一年に、学園は、東  
星尋常小学校として再スタートを切  
ることができたのだと思えました。

東星はその後、地域や時代のニー  
ズに応じて、幼稚園、小学校、中学

校、高等学校（普通科・衛生看護科）  
を設置してまいりました。中学校以  
上では主に女子教育を担ってきたの  
ですが、今世紀に入り、平成十五年  
をもって高等学校衛生看護科を廃止  
し、平成二十年からは中学校を、平  
成二十三年からは高等学校を男女共  
学とし、カトリックの学校としては  
首都圏では唯一、全国的に見ても数  
少ない幼小中高通しての共学一貫教  
育校となりました。

さて、近年の少子化等の影響によ  
り十八歳人口は平成四年度の二〇五  
万人をピークとして減少に転じ、平  
成十九年度には三割以上少ない一三  
〇万人、そして平成二十年代から平  
成三十年代前半まで一二〇万人前後  
で一旦安定するものの、その後、再  
び減少に転ずることが予想されると  
いうことです。

東星学園にとってもご多分に洩れ  
ず児童・生徒数がピークだった十数  
年前より右肩下がりに生徒等の数が  
減っています。世の価値観に基づく  
優良な大学進学実績の結果を示さな  
ければ学校存立の根幹である生徒募  
集もままならないなどと言った風潮  
に晒されながらも、教職員は確信を  
もって東星の特徴ある学び（中高部  
では、どの教科でも生徒一人ひとり  
としっかり向き合ってそれぞれのレ  
ベルや進路目標を把握する教科学習、  
またピア・サポート活動などの教科  
を超えた多様な体験、キャリア教育  
など）を、小学校では一人ひとりの  
個性に注目し可能性をじっくりと伸

ばしてゆくこと、学年に応じた専科  
の授業（一年生から英語・音楽・体  
育・宗教）を取り入れてさまざまな  
角度から子供たちを育てています。  
また放課後もお子さんをお預かりす  
る「とうせいキッズ」を開校し多年  
齢集団の中で、子どもたちの成長を  
サポートしています。

しかし生徒等数の減少が収入減を  
招き、支出は固定化という現状に対  
して風穴を明け、安定的な経営基盤  
の構築に早い段階で着手することも  
喫緊の課題でもあります。

東星学園はフロジャク神父様が、  
もともと苦戦している子どもたちの  
ために創った学校であること、これ  
からも、どんな時代が来ようとも、  
東星学園は苦戦している子どもたち  
（これまで経験したことのない格差  
社会の中であって、子どもの貧困、  
ネグレクト等の増加だけでなく、家  
庭や学校での集団生活を送るにあた  
って様々な課題に直面している）を仲  
間に加え、創立者の「生きることは  
愛すること。愛することは実行する  
こと」という精神を常に刷新し、様々  
な子どもたちの、学習面、生活面、  
心理面、発達面、健康面、進路面に  
対する心理教育的援助サービスを惜  
しみなくし続ける学校であり続けた  
いと願っています。

どうか皆様からの変わらぬご理解  
とご援助を賜りたく存じます。

（東星学園理事長）

中野区で今年度から始まった  
総合事業について

管理者 西本 裕子

日ごろから、中野区江古田地域包括支援センター（以下包括と略します）の事業に対してご協力・ご理解いただき、心より感謝申し上げます。今回は従来の介護保険制度の要支援者に対して行われた「介護予防・日常生活支援総合事業（以下総合事業と略します）」のご説明をしたいと思います。

総合事業は、超少子高齢化の現在の日本の介護保険の保険料がうなぎ上りになっている現実を踏まえて、支え手である若い世代に加えて元氣な高齢者も支え手にまわり支えあう仕組みを作ることが大前提になっています。

そのために、区市町村が主導となり地域の実情に合わせたサービスの仕組みを作り運用していくこととなります。結果として、地域で実施している内容は違ってきます。

厚生労働省は平成二七年から段階的な移行を進めてきました。多くの区市町村は二八年度中に開始していましたが、中野区は一番最後の平成二九年四月から開始することとなりました。今回は中野区版の総合事業についてご説明します。

介護予防・日常生活支援総合事業とは

総合事業とは、区市町村が地域の高齢者がなるべく要介護状態にならないように、また健康寿命を少しでも伸ばして、「元氣・笑顔でいるために」現行の要支援の方に対するサービスと同様のヘルパーさんやデイサービスの利用のほか、ボランティア、NPOなど、地域の団体を巻き込んで、様々な仕組みを用意し参加を促していくものです。

利用の手続きの一部が変わりました

今までは要支援の認定を受けて使っていた介護保険のサービスのヘルパーさんとデイサービスの利用が、基本チェックリスト（生活状況等についての簡易な質問）に回答し、生活機能の低下のサインがあれば「総合事業対象者」となり、包括の職員と相談して利用することが可能となります。ただ、使える範囲は限られています。認定を受けるかチェックリストで利用を開始するかは、内容を十分理解して決めることが重要となります。ちなみに、要介護の認定を受けている方は変更はありません。

総合事業で新しく追加されたサービス

訪問による日常生活支援サービス  
今までのヘルパーさんの訪問する予防訪問サービスに加え、掃除や食事の準備などを中心に行う生活援助サービス、住民ボランティア等が提供する訪問活動事業が追加されました。

・通所による支援サービス  
従来通りの運動やレクリエーションを提供する予防通所サービスと新しく活動援助サービスが始まりました。これに加え、高齢者会館等でも地域の自主活動団体等による通所事業や、期間限定で短期間行われる「なかの元氣アップセミナー」も組み入れられて、認知症予防やカラオケ体操などのメニューも多様です。

こうやって書くといろいろなものが豊富に始まったように見受けられますが、以前から実施していたものや、まだまだ内容が固まっていないもの、地域格差もみられ、これから徐々に充実していくものと思われる。また内容が複雑であるので詳細は、包括職員と相談して参加を決めることとなります。

まだ始まったばかりのこの事業は、閉じこもりがちな高齢者をいかにいろいろな事業につなげていくかが重要なカギとなっています。そのためアウトリーチチームなど特別なチームも動き出しました。何はともあれ、今までの介護保険一色であった高齢者の支援が様々な物に変化して、私見ではありますが、徐々に介護保険の利用が重度者に特化していくように思われます。三十年の改正を目前にして福祉に携わる我々もいち早く情報を入手し、対応を迫られる時代となりました。  
(中野区江古田地域包括支援センター)

ベタニアの家 永年勤続表彰者

(三十年表彰)

ナザレットの家 梶原久美子

(二十年表彰)

ベトレヘム学園 鈴木 則子

マ・メゾン光星 斎藤 透

マ・メゾン光星 佐藤謙太郎

聖家族ホーム 鶴本 正美

聖ヨゼフ老人ホーム 土田 利浩

聖ヨゼフ老人ホーム 堀 裕

ベタニアホーム 岩渕久美子

ベトレヘムの園病院 松村 義則

ベトレヘムの園病院 竹内 勇

ベトレヘムの園病院 菊池 誠

(十年表彰)

ベトレヘム学園 畠山 貴子

マ・メゾン光星 田野 昌弘

マ・メゾン光星 石川 秀俊

マ・メゾン光星 清水 春奈

ベタニアホーム 榛葉 栄子

ベタニアホーム 大瀧多恵子

ベトレヘムの園病院 増田 千晴

『ベタニアの家チャリティーコンサート』開催のお知らせ

今年もベタニアの家チャリティーコンサートを開催いたします。皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

日時 平成二十九年十一月十三日(水)

開場 午後五時半

開演 午後六時

場所 練馬文化センター(小ホール)

出演 鈴木直樹と スウィングエース

チケット 三千元(予定)

チケット&申込問い合わせ

(福) 慈生会 法人本部事務局内

ベタニアの家チャリティー

コンサート実行委員会

主催 ベタニアの家チャリティー

コンサート実行委員会

慈生会の新しい看板に  
夢をのせて

管財課長 菅原 政則

慈生会では、今年一月十六日より、中野地区に中野トータルサポートセンターをベタニアホーム内に設置致しました。中野トータルサポートセンターは生活支援グループ、地域支援グループ、訪問看護ステーション、地域包括支援センターを軸に施設運営の統括窓口として、福祉事業の強化と地域に密着した福祉を目指した

事業を展開するため開設しました。そこで、広報の一環として、今までに無い、オリジナルな看板を慈生会として設置しました。看板にはデジタルサイネージという液晶モニターを採用し、福祉の相談や求人、イベント、セミナーなどの情報を対外的に広報として、お伝えする画期的な看板になっております。設置場所は、ベタニアホーム入口に設置しましたので機会がございましたら、是非、ご覧いただければ幸いです。

(本部事務局)



総合東京病院側

江古田の森公園側

平成 28 年度 決算 報告

法人全体の貸借対照表の要旨 (平成 29 年 3 月 31 日現在) 単位:千円

資 産 の 部		負 債 ・ 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	2,099,187	流 動 負 債	319,105
固 定 資 産	5,613,058	固 定 負 債	536,752
基本財産	2,676,869	負 債 合 計	855,857
その他の固定資産	2,936,188	基 本 金	1,630,347
		国庫補助金特別積立金	1,195,934
		その他の積立金	1,923,867
		次期繰越活動収支差額	2,106,240
		純 資 産 合 計	6,856,388
資 産 の 部 合 計	7,712,245	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	7,712,245

資金収支計算書の要旨 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) 単位:千円

事 業 区 分	収 入	支 出	差 額
社会福祉事業区分	4,270,060	4,564,503	- 294,443
公益事業区分	212,310	236,079	- 23,769
収益事業区分	0	0	0

事業活動計算書の要旨 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) 単位:千円

事 業 区 分	収 入	支 出	差 額
社会福祉事業区分	3,613,820	3,347,624	266,196
公益事業区分	177,306	179,923	- 2,617
収益事業区分	0	0	0

社会福祉法人 慈生会  
平成二十八年年度 決算報告  
五月二十四日の理事会および六月八日の評議員会で、平成二十八年年度の決算が承認されましたので、その要旨を報告いたします。

財産目録の要旨 (平成 29 年 3 月 31 日現在) 単位:千円

区 分	金 額
資 産 の 部	7,712,245
基本財産土地	(583,940)
基本財産建物	(2,092,930)
負 債 の 部	855,857
差引純資産	6,856,388

ベタニアの家

七月行事予定



- 1日 ☆福者ペトロ岐部と 一八七殉教者
- 6日 東星学園中高 合唱祭
- 8日 徳田保育園 夏祭り
- 8日 東星幼稚園 入園説明会
- 13日 慈生会法人幹部研修
- 14日 指導 菊地功新潟教区司教
- 14日 東星学園 中学・高校
- 17日 《海の日》
- 19日 聖ヨゼフホーム 納涼祭
- 26日 聖家族ホーム 納涼祭
- 27日 慈生会新任職員研修
- 28日 指導 門間直輝神父
- 28日 ベタニアホーム 納涼大会
- 28日 被災地ボランティア
- 6日 ☆主の変容
- 6日 15日 ☆日本カトリック
- 11日 《山の日》 平和旬間
- 12日 ☆平和を願うミサ (カテドラル)
- 15日 ☆聖母の被昇天
- 23日 慈生会理事懇談会 (予定)
- 25日 東星学園 小学校 学校説明会
- 30日 ベトレヘム学園 平和と感謝のミサ・ファイヤー祭
- 31日 ☆聖母の訪問

九月行事予定

- 3日 ☆被造物を大切に 世界祈願日
- 9日 東星学園幼稚園 入園説明会
- 11日 二代目理事長 ミルサン神父様 帰天日
- 14日 ☆十字架称賛 聖家族・聖ヨゼフホーム 敬老の集い
- 16日 《敬老の日》
- 18日 敬老祝賀式典
- 18日 敬老の集い
- 20日 21日 慈生会職員研修
- 22日 敬老祝賀式典
- 22日 慈生会職員研修
- 22日 東星学園 指導 豊島治神父
- 22日 合唱団定期演奏会
- 23日 《秋分の日》 清瀬けやきホール
- 23日 東星学園 中学・高校 学校説明会
- 24日 ☆世界難民移住移動者の日
- 27日 慈生会中堅の心構え研修
- 27日 指導 晴佐久昌英神父

計 報



シスター シャンタル 廣井 カズ

生 歴

一九三一年 六月十五日 生

一九六九年 二月十一日 立誓願

二〇一七年 四月七日 帰天

ベタニア修道女会

『那須地区 光星祭』

開催のお知らせ

今年も那須地区光星祭を十月に開催することになりましたのでお知らせ致します。皆様のご来場をお待ちしております。

開催日

平成二十九年十月一日(日)

時間

午前十時～午後二時(予定)

場所

栃木県那須郡那須町大字豊原乙  
一二八九 (マ・メゾン光星)

連絡先

TEL 0287-77-11013  
(平日十時～十七時)

『中野地区ふれあいバザー 徳田まつり』開催のお知らせ

今年も中野地区ふれあいバザー・徳田まつりを十月に開催することになりましたのでお知らせ致します。なお、お隣のカトリック徳田教会バザーと同日開催となります。皆様のご来場をお待ちしております。

日時

平成二十九年十月十五日(日)

時間

午前十時三十分～午後二時三十分(予定)

場所

慈生会中野地区

連絡先

TEL 03-33387-5567  
(平日十時～十七時)  
<http://www.jseikai.jp/>

主催

ふれあいバザー実行委員会  
徳田まつり実行委員会

編集後記



先月久しぶりに研修で職員の皆さんと一緒に那須の山の家に行きました。天候にも恵まれ、自然の中で改めて神様の存在を確認し、フロジャク神父様の話を聞きながらそれぞれに分かち合いの中でキリストの心に触れることができました。感謝！ (原田 直人)

六月より東京では、フランシスコ教皇様の「ローマ法王になる日まで」が上映されている。また、数年前読んだ本「神の小屋」の映画が秋に上映とのこと。これらの本とおして、「福音」とは「ゆるし」とは、と考えさせられている。創立記念日を迎え、あらためてベタニアの家のキリストの香り、フロジャク神父様の創立の動機を思い祈っている。

(Sr菊池 啓子)